



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 中央倉庫
コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 康平
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長 (氏名) 山田 栄作

TEL 075-313-6151

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,016	2.3	1,024	7.8	1,127	8.7	630	5.6
24年3月期第3四半期	16,636	1.4	950	6.3	1,037	2.3	597	8.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 775百万円 (141.8%) 24年3月期第3四半期 320百万円 (56.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	34.87	—
24年3月期第3四半期	33.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	37,739	31,636	83.4
24年3月期	37,321	30,671	81.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 31,493百万円 24年3月期 30,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	13.50	23.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	7.0	1,400	9.7	1,450	6.0	810	1.6	42.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	19,064,897 株	24年3月期	19,064,897 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	40,668 株	24年3月期	1,075,712 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	18,092,705 株	24年3月期3Q	17,989,159 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等による緩やかな回復がみられ、また、政権交代による株価の好調な推移や円安の進行等により景気回復への期待感もある一方、欧州債務危機の長期化や新興国経済の減速による影響等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

物流業界におきましては、国内貨物の保管残高は前年度に比し増加傾向にあるものの、入出庫高はほぼ横ばいで推移しました。国内貨物輸送量は荷動き低下の影響を受けて停滞が続き、国際貨物におきましては、輸入貨物は増加していますが、輸出貨物は円高の影響等を受けて減少しており、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、ソリューション営業力の強化に努め一貫物流への取組みを積極的に進めるとともに、顧客ニーズへの対応と業務の効率化を図るため、既存設備の大規模改修として京都支店城南営業所A・B棟の改築に着手しました。また、さらなる業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。加えて、信用力の向上と当社株式の流動性の向上等を目的として平成24年12月に大阪証券取引所市場第二部から同市場第一部に当社株式を上場しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は17,016百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は1,024百万円（前年同期比7.8%増）、経常利益は1,127百万円（前年同期比8.7%増）、四半期純利益は、特別損失に京都支店城南営業所改築に伴う解体工事費用およびその資産の除却損67百万円等を計上したため、630百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

（セグメント別の概況）

① 倉庫業

倉庫業におきましては、保管残高は前年同期に比し増加しましたが、入出庫高は前年同期に比しほぼ横ばいとなりました。これらの結果、倉庫業の営業収益は4,074百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は547百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

② 運送業

運送業におきましては、保管外貨物の取扱いに注力し、取扱数量は前年同期に比し増加しました。これらの結果、運送業の営業収益は8,838百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は653百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、輸出入取扱高につきましては輸入の取扱高は前年同期に比し増加し、輸出の取扱高は円高等の影響を受けて減少しましたが、梱包業の取扱高は増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は4,153百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は258百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ418百万円増の37,739百万円となりました。これは主に、固定資産の建物及び構築物が516百万円減少しましたが、流動資産の現金及び預金が821百万円、固定資産の投資有価証券が190百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ546百万円減の6,103百万円となりました。これは主に、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が137百万円、賞与引当金が110百万円、固定負債の長期借入金が273百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ964百万円増の31,636百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が137百万円増加したことに加え、大阪証券取引所市場第一部上場を機に自己株式の処分を行ったこと等により自己株式が895百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント増の83.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成24年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,738,931	6,560,592
受取手形及び営業未収入金	3,308,645	3,244,423
貯蔵品	7,529	8,241
繰延税金資産	122,499	70,801
その他	480,843	462,563
貸倒引当金	△16,451	△18,727
流動資産合計	9,641,999	10,327,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,904,662	11,387,732
機械装置及び運搬具（純額）	683,946	715,753
土地	9,604,077	9,604,077
リース資産（純額）	45,639	41,717
建設仮勘定	—	66,150
その他（純額）	200,461	170,663
有形固定資産合計	22,438,787	21,986,094
無形固定資産	42,684	38,187
投資その他の資産		
投資有価証券	4,890,345	5,080,836
繰延税金資産	3,298	—
その他	314,977	318,053
貸倒引当金	△10,374	△11,097
投資その他の資産合計	5,198,247	5,387,792
固定資産合計	27,679,719	27,412,074
資産合計	37,321,718	37,739,969

(単位：千円)

前連結会計年度
(平成24年3月31日)当第3四半期連結会計期間
(平成24年12月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,205,611	1,129,235
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	509,100	371,200
リース債務	18,552	20,622
未払法人税等	215,081	128,242
賞与引当金	223,152	113,088
役員賞与引当金	16,300	13,820
その他	446,574	556,024
流動負債合計	5,744,371	5,442,232
固定負債		
長期借入金	568,600	294,800
リース債務	29,368	23,180
繰延税金負債	115,851	148,287
退職給付引当金	83,258	86,216
その他	108,996	109,046
固定負債合計	906,075	661,531
負債合計	6,650,447	6,103,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	26,240,364	26,165,624
自己株式	△930,625	△35,176
株主資本合計	30,307,841	31,128,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234,625	372,037
為替換算調整勘定	△7,291	△7,259
その他の包括利益累計額合計	227,333	364,777
少数株主持分	136,096	142,877
純資産合計	30,671,271	31,636,205
負債純資産合計	37,321,718	37,739,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業収益	16,636,099	17,016,132
営業原価	15,241,174	15,530,040
営業総利益	1,394,924	1,486,091
販売費及び一般管理費	444,707	461,879
営業利益	950,217	1,024,212
営業外収益		
受取利息	597	535
受取配当金	91,794	97,995
社宅使用料	7,927	8,369
負ののれん償却額	2,436	—
持分法による投資利益	9,399	14,624
その他	16,426	29,081
営業外収益合計	128,583	150,606
営業外費用		
支払利息	39,987	35,020
その他	1,080	12,142
営業外費用合計	41,067	47,163
経常利益	1,037,733	1,127,655
特別利益		
固定資産売却益	11,524	6,137
特別利益合計	11,524	6,137
特別損失		
固定資産除却損	5,520	78,226
固定資産売却損	618	68
投資有価証券評価損	1,111	15,506
災害による損失	29,400	—
その他	—	1,937
特別損失合計	36,650	95,738
税金等調整前四半期純利益	1,012,607	1,038,055
法人税、住民税及び事業税	304,501	371,834
法人税等調整額	106,510	27,814
法人税等合計	411,012	399,649
少数株主損益調整前四半期純利益	601,594	638,406
少数株主利益	4,072	7,442
四半期純利益	597,521	630,963

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	601,594	638,406
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△280,778	137,507
持分法適用会社に対する持分相当額	41	32
その他の包括利益合計	△280,736	137,539
四半期包括利益	320,858	775,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,641	768,407
少数株主に係る四半期包括利益	3,216	7,537

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物 取扱業 (千円)	計 (千円)		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,878,316	8,684,568	4,073,214	16,636,099	—	16,636,099
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	26,364	28,700	—	55,065	△55,065	—
計	3,904,681	8,713,268	4,073,214	16,691,164	△55,065	16,636,099
セグメント利益	441,006	651,864	275,318	1,368,189	△417,971	950,217

(注) 1. セグメント利益の調整額△417,971千円には、セグメント間取引消去19千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△417,990千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物 取扱業 (千円)	計 (千円)		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,048,549	8,814,211	4,153,370	17,016,132	—	17,016,132
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	26,399	24,188	—	50,587	△50,587	—
計	4,074,949	8,838,400	4,153,370	17,066,720	△50,587	17,016,132
セグメント利益	547,461	653,560	258,949	1,459,971	△435,759	1,024,212

(注) 1. セグメント利益の調整額△435,759千円には、セグメント間取引消去24千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△435,783千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。